

特集 日本の文化を伝承する

大嘗祭と

阿波忌部氏の

鹿服調進

天皇が即位ののち初めて新穀を天地の神々にお供えし、自らも食すという天皇一世一度の大嘗祭が11月に行われる。この大嘗祭の際、朝廷からの依頼で即位する天皇のために麻の反物である鹿服(あらたえ・麻織物)を、代々天皇に調進していたのが阿波忌部氏だ。阿波徳島に縁の深い日本の文化・大嘗祭と、阿波忌部氏や鹿服などについて紹介する。